

「産後2週間健診実施の効果の検討」についての情報公開

【はじめに】

産後1か月までの時期は心身共にストレスフルで育児不安が高まる時期であり、特に産後2週間の時期は精神的ハイリスクのピークであるといわれています。産後2週間の褥婦の不安内容は母乳や授乳に関すること・児の皮膚トラブルや褥婦の身体的内容が多いことが報告されており、当院ではこれらの産褥の問題に対し早期に対応することで、褥婦の心身のケアや産後支援が必要な対象を早期発見することを目指し、助産師による産後2週間健診を開始します。

【研究内容】

今回産後2週間健診を開始するにあたり、健診の効果を検討するための調査を行うこととしました。

対象：2019年10月1日から2020年9月30日までに当院で分娩し、産後1か月健診を受診した褥婦

方法：診療録から研究に必要な臨床情報を抽出し、個人が特定出来ないような形で匿名化して情報を集めます。

対象である産後2週間健診を開始する前に当院で分娩した褥婦の産後1ヶ月健診にて記載のあったエジンバラ産後うつ病質問票の点数を調査します。

【個人情報の管理について】

本研究は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って実施します。個人情報の漏洩を防ぐため、臨床研究に関する氏名等の個人情報は削除し、第三者が個人情報を閲覧できないようにしております。

また、本研究の実施過程、および結果の公表（学会発表、論文発表）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれないように配慮しています。

尚、本研究に情報を利用することをご了承いただけない場合には研究対象と致しませんので、下記連絡先までお申し出ください。

【研究期間】

倫理審査委員会承認日より2022年3月31日迄

【医学上の貢献】

このたび開始する産後2週間健診の実施の効果について検討し、今後のより良い産後支援につなげることができると考えます。

【研究責任者】

国立病院機構 別府医療センター 北2病棟 助産師

氏名：安藤 聡美

連絡先：〒874-0011 別府市大字内かまど 1473 番地

電話：0977-67-1111 FAX：0977-67-5766

大分県立看護科学大学大学院博士課程（前期）看護学専攻

〒870-1201 大分県大分市大字廻栖野 2944-9

TEL：097-586-4300